

九十九王子と熊野古道



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を遥拝し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子社の中でも海南市の藤代王子社、印南町の切部（切目）王子社、上富田町の稲葉根王子社、中辺路町の滝尻王子社、本宮町の発心門王子社は、五鉢王子社として特に格式が高いといわれています。

上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していましたが、足利将軍家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

旅のお問い合わせは

- (一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー TEL.0739-26-9025
- 田辺観光協会 TEL.0739-26-9929
- 中辺路町観光協会(熊野古道館) TEL.0739-64-1470
- 熊野本宮観光協会 TEL.0735-42-0735
- (公社)和歌山県観光連盟 TEL.073-422-4631
- 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

R6年7月改訂

地球環境保護のために、植物油インクを使用しています。

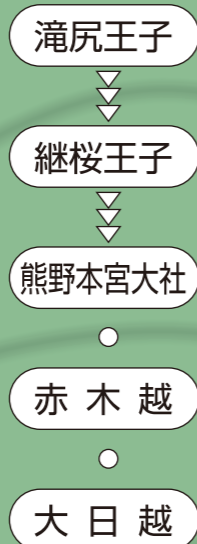


紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

和歌山県街道マップ

熊野古道

中辺路 滝尻王子～熊野本宮大社 赤木越・大日越



滝尻王子は熊野御山の聖域のはじまりです。ここからの急坂の途中には藤原秀衡ゆかりの「乳岩」や「胎内くぐり」があり、これらは熊野の神々(自然)の霊力を語るものとして、信仰の山の象徴といえます。高原の里からは山中深く分け入り、大坂本王子へと下り、熊野古道のシンボルである箸折峠の牛馬童子の石像へと続きます。近露の里を眺めながら坂を下り、四万十川に勝るとも劣らない日置川を渡ると近露王子に到着です。温泉もあり、ここで一泊して本宮へと向かうのが一般的です。ここから野中の一方杉や清水のある継桜王子、小広峠から草鞋峠の女坂、岩神峠への男坂、せせらぎの音に身も心も洗われる湯川王子のある道湯川の集落跡から一越、二越、三越して三越峠へ至ります。ここから、いよいよ奥熊野へと入ります。発心門王子・水呑王子と進み、和泉式部ゆかりの伏拝王子では熊野本宮大社旧社地、大斎原が望まれ、思わず伏し拝みたくなる風景が広がります。

赤木越は船玉神社付近から湯の峰温泉へ、大日越は湯の峰温泉と熊野本宮大社を結ぶ古道です。

ルートその1【P4へ】

滝尻王子～継桜王子

平安貴族の藤原宗忠が、「はじめて(熊野権現の)御山の内に入る」と記した滝尻王子にはじまるこのコースからいよいよ熊野三山の聖域に入ります。このコースの特徴はアップダウンが激しいこと。スタート地点の滝尻王子と、最高地点の上多和茶屋跡は約600mの標高差があり、滝尻王子からいきなりの急坂が旅人を驚かせます。

そんな厳しいコースの途中には、藤原秀衡ゆかりの「乳岩」、熊野古道中辺路で最古の社殿が残る「高原熊野神社」、西国観音霊場中興の祖「花山法皇」の旅姿を模したといわれる「牛馬童子像」等様々な見所があり、暫し疲れを忘れさせてくれます。

本宮の手前最後の宿所とされた近露の里で宿泊し、南方熊楠翁の手により見事な杉林が残る野中に至る、本格的なコースです。



牛馬童子像



近露王子

ルートその2【P8へ】

継桜王子～熊野本宮大社

見事な杉林が残る、野中をスタートし小広峠から少し古道に分け入れれば、そこはもう「木の国」紀州ならではの大森林が広がります。熊野本宮大社に向けて全体的には下りのルートとなりますが、途中「草鞋峠」「岩神峠」「三越峠」等の難所が待ち構えています。

それらの難所を越え、熊野本宮大社の神域の入口とされる別格の「発心門王子」、高台から熊野本宮のお社を一望した旅人が、有難さのあまり平伏し拜んだといわれる「伏拝王子」等本宮町内の王子社をめぐって「熊野本宮大社」へ。遠く、苦しい道程を経て大社への参拝を果たした、昔の旅人の感動を追



乳岩

五鉢王子・滝尻王子 高原熊野神社

和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に製作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(https://www.wakayama-kanko.or.jp/)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。

登山届について

- 万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
- ・問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



ルートその3【P12へ】

赤木越 船玉神社～湯の峰温泉

体験していただけることでしょう。

この区間沿道の小広峠～熊野本宮大社間は公共交通機関が極めて不便な区間ですので、事前に十分な計画をたてておく必要があります。



日本名水百選のひとつ野中の清水



五鉢王子・発心門王子



伏拝王子から大斎原を望む

滝尻王子社と熊野三山を結ぶ熊野御幸メインルートの途中、三越峠から分岐して湯の峰温泉経由で熊野本宮大社に向かうルートが赤木越で、近世には頻りに利用されたルートです。現在は三越峠から音無川の源流の谷道を下った船玉神社手前から植林帯を右に登るルートが分岐しており、なべわれ地藏や柿原茶屋跡を途中に見ながら、日本最古の温泉といわれる湯の峰温泉へと下ります。



赤木越

ルートその4【P13へ】

大日越 熊野本宮大社～湯の峰温泉

「熊野本宮大社」から大社の旧社地である「大斎原(おおゆのはら)」を通って熊野参詣の旅人の「湯垢離場」として賑わった「湯の峰温泉」へと抜けるルートです。コースは約2kmと短いものの、大社側には厳しい登りが立ちばかり、短い間に、月見ヶ丘神社、峠の鼻欠地藏、湯峯王子等の見所も点在する本格コースで、是非本宮町内に宿泊して歩きたいコースです。鼻欠地藏



古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。

熊野古道マップ

中辺路 (滝尻王子～熊野本宮大社)



滝尻王子～継桜王子その1
▶ P4, P5

滝尻王子～継桜王子その2
▶ P6, P7

赤木越
▶ P12

大日越
▶ P13

継桜王子～熊野本宮大社その1
▶ P8, P9

継桜王子～熊野本宮大社その2
▶ P10, P11

登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。

アプリのダウンロードは右のQRコードから▶



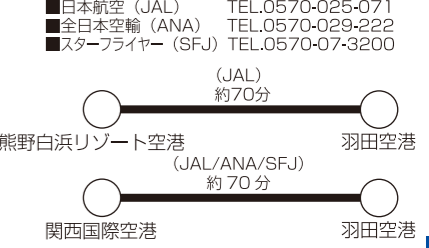
熊野古道 [中辺路] アクセスガイド



電車



空路



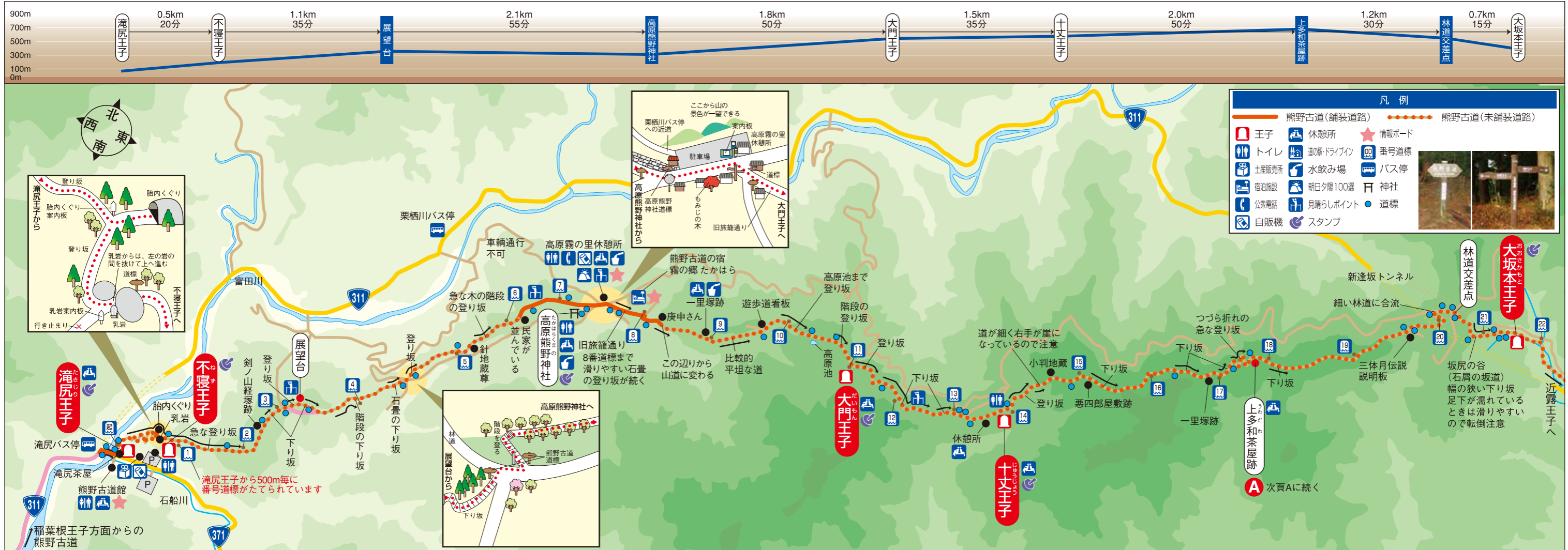
たきじり 滝尻王子(田辺市中辺路町) ~ つぎざくら 継桜王子(田辺市中辺路町) その1

歩行距離 18.2km
標準歩行時間 7時間10分(野中一方杉バス停まで)
標準所要時間 9時間40分

滝尻王子から、いよいよ熊野三山の聖域に入り近露へ、そして野中の清水に至るロングコース。いにしへの古道の雰囲気をお楽しみいただけるコースです。

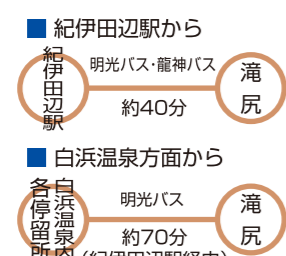
滝尻王子からは、番号道標が500m毎に建っているの、目印にして歩きましょう。滝尻王子から2番道標までは、急な登り坂ですが、登り切ると尾根伝いの比較的緩やかな道になり、高原熊野神社へと至ります。高原からは、再び登りとなり最高地点の上多和茶屋跡へ。上多和茶屋跡を過ぎると、近露に向けて一気に下ります。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは、明光バス「栗栖川行」・「新宮駅行」又は龍神バス「発心門王子行」・「本宮大社行」・「道の駅奥熊野行」に乗り、「滝尻」バス停で下車(ほぼ1時間に1本の間隔で運行)。白浜温泉からは、明光バス「新宮駅行」で「滝尻」バス停下車。白浜温泉からは、1日2本の運行となりますのでご注意ください。



このコースの歩き方

- 日帰りで2回に分けて歩く
滝尻～牛馬童子道の駅間、牛馬童子道の駅～野中の清水間を2回に分けて日帰りで歩きます。
- 途中で宿泊して歩く
初日に滝尻～近露間を歩き、近露で宿泊。翌日、近露～野中の清水間、又は次のコースの小広峠まで歩いて帰路につきます。
- 次のコースと合わせて一気に歩く
(1) 歩いた後で本宮町にもう一泊。初日に滝尻～近露間を歩き、近露周辺に宿泊。翌日は早朝に出発して、熊野本宮大社まで一気に歩きます。
(2) 1泊2日で歩いた後、そのまま帰路に。初日に継桜王子まで距離をかき、野中で宿泊。翌日は早朝に出発して、熊野本宮大社まで歩きます。「本宮大社前」バス停 16時40分発が紀伊田辺駅行の最終。「本宮大社前」バス停 18時58分発が新宮駅行の最終です。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。中辺路町近露で宿泊し、野中の清水まで1泊2日で歩きました。)

1日目	滝尻	熊野古道館	滝尻王子	不寝王子	展望台	高原熊野神社	10:00	10:01	10:20	10:21	10:30	10:50	11:00	11:35	11:40	12:35	13:05	
									(熊野古道を歩く前に古道館を見学)			(急坂の途中で長めの休憩)				(霧の里休憩所で昼食休憩:お弁当)		
	大門王子	十丈王子	上多和茶屋跡	大坂本王子	牛馬童子口(道の駅)		13:55	14:00	14:35	14:40	15:30	15:35	16:20	16:25	16:40	16:50		
																(少し長めの休憩)		
	牛馬童子像	近露王子	近露王子周辺の旅館・民宿で宿泊	2日目は次ページ														
	17:10	17:20	17:30															

街道マップ「中辺路 滝尻王子〜継桜王子 その1」

滝尻王子〜継桜王子 その2 (P6)

たきじり 滝尻王子(田辺市中辺路町) ~ つぎざくら 継桜王子(田辺市中辺路町) その2

歩行距離 18.2km
標準歩行時間 7時間10分(野中一方杉バス停まで)
標準所要時間 9時間40分

滝尻王子から、いよいよ熊野三山の聖域に入り近露へ、そして野中の清水に至るロングコース。いにしへの古道の雰囲気をお楽しみいただけるコースです。

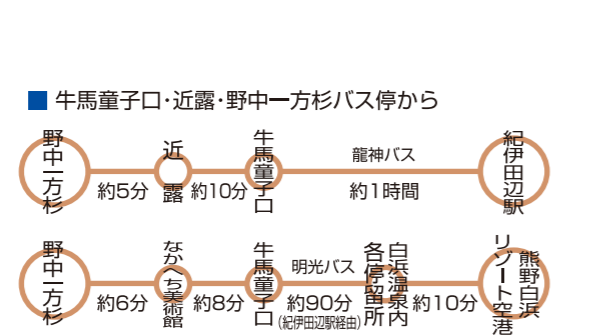
このコース最高地点の上多和茶屋跡から一気に下り、牛馬童子の像を越えると、古道の宿場として栄えた近露へと入ります。王子社跡や野長瀬一族の墓を眺めた後、楠山坂を登って継桜王子へ。この付近には、野中一方杉や全国名水百選にも選ばれた野中の清水、秀衡桜等多くの見所が点在しています。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



お帰りは

「牛馬童子口」、「近露王子」、「野中一方杉」の3箇所から、龍神バス又は明光バスを利用して「紀伊田辺駅」へ戻ることが出来ます。(1日7本程度の運行)
白浜温泉・熊野白浜リゾート空港方面へは、上記の各箇所から、明光バスが1日2本運行しています。



宿泊情報

お問い合わせ
中辺路町観光協会
0739-64-1470

近露王子を中心とした近露周辺に、旅館・民宿が点在している他、継桜王子周辺の野中地区にも民宿があります。いずれのお宿も規模は大きくありませんが、地元の食材を使った料理と、親切なおもてなしをモットーにしています。

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。中辺路町近露で宿泊し、野中の清水まで1泊2日で歩きました。)

2日目	9:00	近露王子	9:08	野長瀬一族の墓	9:15	比曾原王子	10:05	継桜王子	10:10	とがの木茶屋	10:30	野中の清水	10:50	野中一方杉バス停	12:40	頃発のバスで紀伊田辺駅へ
																(注意)野中の清水から徒歩20分程の「野中一方杉」バス停から1日7本バスが運行

・ ・ ・ 野中の清水 ・ ・ ・ ・ ・ 野中一方杉バス停 12:20

(清水周辺で昼食休憩:お弁当)

街道マップ「中辺路 滝尻王子〜継桜王子 その2」

継桜王子〜熊野本宮大社その1(P8)

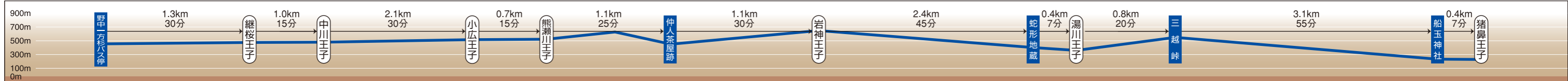
つぎざくら 継桜王子(田辺市中辺路町) ~ 熊野本宮大社(田辺市本宮町) その1

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 22.1km
標準歩行時間 6時間50分
標準所要時間 8時間50分

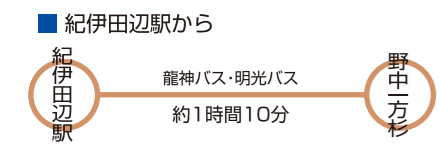
野中の清水 から、草鞋峠、岩神峠、三越峠と峠越えを繰り返しながら熊野本宮大社をめぐります。古道の雰囲気色が濃く残る、ロングコースです。

起点となる継桜王子から小広王子までの間は、比較的平坦な旧国道311号を進みます。小広王子からは、いよいよこのコースのハイライト、草鞋峠・岩神峠・三越峠への急峻な道。途中途中に点在する王子跡や、清流を眺めながら進みましょう。小広峠からは、公共交通機関・宿泊施設が極端に少なくなりますので、一日で一気歩いてしまうよう計画をたてるほうが良いでしょう。



スタート地点までのアクセス

「紀伊田辺駅」からは龍神バス「発心門王子」・「本宮大社行」・「道の駅奥熊野行」又は明光バス「新宮駅行」に乗り、「野中一方杉」バス停で下車。



このコースの歩き方

●野中周辺に宿泊して翌日一気に熊野本宮大社へ
1日目は夕方に野中周辺に入り、ここで一泊。翌日は早朝に出発して熊野本宮大社まで歩きます。「本宮大社前」バス停16時40分発が紀伊田辺駅行の最終。「本宮大社前」バス停18時58分発が新宮駅行の最終です。
(注)このコースは小広峠から先、熊野本宮大社まで公共交通機関が極端に少なくなりますので、注意が必要です。

●前のコースと合わせて一気に歩く
(1) 歩いた後で本宮町にもう一泊。
初日に前コースの途中の近露まで歩き、近露周辺に宿泊。翌日は早朝に出発して熊野本宮大社まで一気に歩きます。
(2) 前コースと本コースを1泊2日で一気に歩く。
初日に継桜王子まで距離をかき、野中で宿泊。翌日は早朝に出発して、熊野本宮大社まで歩きます。「本宮大社前」バス停16時40分発が紀伊田辺駅行の最終。「本宮大社前」バス停18時58分発が新宮駅行の最終です。

標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。前日に中辺路町野中入りし、継桜王子周辺で宿泊。翌日熊野本宮大社まで1泊2日で歩きました。)

1日目	紀伊田辺駅から路線バスで野中一方杉バス停に17時30分頃到着										
	野中一方杉バス停 17:39	継桜王子横にあるお宿へ 18:10									
2日目	継桜王子 7:00 (秀衡桜も見学)	中川王子 7:15	小広王子 7:20	熊瀬川王子 7:50	仲人茶屋跡 7:55	岩神王子 8:10	次ページへ 8:15	猪鼻王子 8:40	船玉神社 8:45	三越峠 9:15	湯川王子 9:20

(※仲人茶屋跡～蛇形地蔵間は通行止のため、迂回路を進む。)

街道マップ「中辺路」継桜王子～熊野本宮大社 その1

継桜王子～熊野本宮大社その2 (P10)

つぎざくら 継桜王子(田辺市中辺路町) ~ くまのほんぐうたいしゃ 熊野本宮大社(田辺市本宮町) その2

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 22.1km
標準歩行時間 6時間50分
標準所要時間 8時間50分

野中の清水から、草鞋峠、岩神峠、三越峠と峠越えを繰り返しながら熊野本宮大社をめざします。古道の雰囲気が色濃く残る、ロングコースです。

猪鼻王子を過ぎ急坂を登ると、五躰王子である発心門王子社。ここから先は、いよいよ熊野本宮大社の神域となります。発心門王子から熊野本宮大社までの間はなだらかな下り坂が中心で、歩きやすく整備されており、昔の旅人が初めて熊野本宮大社の旧社地(大斎原)を望み、有難さにひれ伏し拜んだといわれる伏拝王子等多くの見所が点在しています。これらの見所を過ぎて、いよいよ熊野本宮大社へ。歩いてお詣りしたという達成感をゆっくりと味わってください。



お帰りは

熊野本宮大社でゴールし、「紀伊田辺駅」、「熊野白浜リゾート空港」、「新宮駅」の各ターミナルへの路線バスを利用します。また、「本宮大社前」発午前中限定で、「五條駅」・「大和八木駅」方面のバスもございます。

- 紀伊田辺駅へ
 - 本宮大社前 龍神バス・明光バス 約2時間
- 白浜温泉・白浜空港へ
 - 本宮大社前 明光バス 各白浜温泉 約10分
 - 本宮大社前 約2時間5分 (紀伊田辺駅経由)
- 新宮駅へ
 - 本宮大社前 熊野交通・明光バス・奈良交通 約55分~1時間25分

ご宿泊の方は

お問い合わせ 熊野本宮観光協会 0735-42-0735

本宮町内には、日本最古の温泉ともいわれ、熊野詣の湯垢離場としても栄えた湯の峰温泉、大塔川の川原に湧く、野趣溢れる温泉として人気の川湯温泉、大露天風呂が人気の渡瀬温泉と、趣きの異なった3つの温泉があり、それぞれに旅館・民宿が集まっています。熊野本宮大社からは、熊野御坊南海バス、奈良交通、龍神バスの各バスが、三湯経由の路線バスを運行しています。

標準の歩行記録

(参考行程:見学時間等を含む。前日に中辺路町野中入りし、継桜王子周辺で宿泊。翌日熊野本宮大社まで1泊2日で歩きました。)

2日目 前ページから

10:05	蛇形地蔵	10:15	湯川王子	10:25	三越峠	10:45	船玉神社	11:25	猪鼻王子	12:00	発心門王子	12:25	水呑王子	12:32	伏拝王子	12:35	三軒茶屋跡	12:35	祓殿王子	15:20	熊野本宮大社
-------	------	-------	------	-------	-----	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	--------

(昼食のため小休止:お弁当) (王子からの眺望を楽しむ)

熊野本宮大社 熊野本宮大社に参拝し新宮駅行のバスに乗車。新宮駅経由で大阪方面へ 15:23

あかぎごえ 赤木越 赤木越分岐 (田辺市本宮町) ~ 湯の峰温泉 (田辺市本宮町)

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



ご宿泊の案内

本宮町内には、趣きの異なった3つの温泉がありますが、このルートの散策には、湯の峰温泉での宿泊が便利です。ハイキングの前日、又はハイキング後に湯の峰温泉で宿泊するのが一般的です。

標準の歩行記録

(参考行程:見学時間等を含む。熊野本宮大社を起点に熊野古道(中辺路街道)を赤木越分岐へ、その後赤木越を通り湯の峰温泉で宿泊)

熊野本宮大社	12:00	祓殿王子	12:03	三軒茶屋跡	12:05	伏拝王子	12:45	水呑王子	12:50
(大社周辺で昼食をとってから出発)									
赤木越分岐	14:30	猪鼻王子	14:40	赤木越分岐	14:50	なべわれ地蔵	15:05	湯の峰温泉	16:10
(五峠王子をゆっくり見学) (いよいよ赤木越に入る)									
柿原茶屋跡	16:30	湯の峰温泉	16:35	湯の峰温泉	17:20	湯の峰温泉	湯の峰温泉で宿泊		

だいにちごえ 熊野本宮大社 (田辺市本宮町) ~ 湯の峰温泉 (田辺市本宮町)

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



ご宿泊の案内

本宮町内には、趣きの異なった3つの温泉があります。このルートの散策には、湯の峰温泉での宿泊が便利ですが、徒歩約30分で渡瀬温泉へ、約45分で川湯温泉へお越しいただくことが出来ます。

標準の歩行記録

(参考行程:見学時間等を含む。熊野本宮大社を起点に大日越へ、その後湯の峰温泉で宿泊)

熊野本宮大社	14:30	大齋原	14:40	大日越登り口	14:55	月見ヶ丘神社	15:00	湯の峰温泉	15:20
(大社旧社地をゆっくり見学) (急坂の途中で小休止)									
湯の峰温泉	15:40	湯の峰温泉	15:45	湯の峰温泉	16:05	湯の峰温泉	16:10	湯の峰温泉	16:15
湯の峰温泉(つぼ湯) 散策後湯の峰温泉で宿泊									

古道への交通アクセス

